

ふるさと通信

令和2年冬号

とわ北斗ヴィンヤード
たかすタロファーム
地域おこし協力隊



北海道 鷹栖町からみなさんへ

HOKKAIDO
TAKASU TOWN



- 1.ブドウの収穫を行う就労者の方
- 2.白ワイン2019L' Assemblage(アッサンブラージュ)
- 3.ワインプロジェクトの統括を担う林勇人さん
- 4.白ワイン用ブドウ品種「ゲヴェルツラミナー」

生産者の想いが詰まったワインを 皆さんに届けたい

発足当初、余市町や富良野市など、道内のワイン造りの先進地の技術を取り入れようと試みましたが、ブドウの樹を取り巻く気候や土質などの環境が、道内の先進地と鷹栖町では大きく異なるため、ブドウの樹はうまく育たなかったそう。しかし、試行錯誤を重ね、鷹栖という風土にあった独自の栽培方法を確立していったこと

その中でも今注目を集めているのが農園「ロッキーランド」でのワイン用ブドウの栽培・収穫です。鷹栖共生会の理事長である島畑光信さんの「鷹栖町をワインの町にしたい」という想いにより、7年ほど前から試験的にブドウの苗を植えたことが、ワインプロジェクトの始まりでした。

社会福祉法人鷹栖共生会が運営している就労支援施設「とわ北斗」。平成24年11月の開設以来、障がいを持つ方々の就労支援のために、廃材を利用した家具の再生工房や配食弁当作り、リサイクルセンターでの作業等幅広い支援を行っています。

今現在、農園ではピノ・グリアやシャルドネ、ケルナー等さまざまな品種のブドウを栽培し、ブレンドした白ワインを造っていますが、中でも林さんイチオシなのが、白ワイン用ブドウ品種である「ゲヴェルツ

くりにしているそうです。また、就労している方々は、体力的に負担がかからない程度に、ブドウの剪定から収穫までの仕事を行っており、とわ北斗の職員も、就労者一人一人の得手不得手や特性をしつかりと見極め、全ての方にやりがいをもって農園で働いてもらうことを第一に考えた環境づくりをしています。

道内の中でも特に寒さが厳しい鷹栖町。凍害を受けないよう、さまざまな工夫が必要ですが、「冷涼な気候により酸の高いブドウが栽培でき、本州に比べ、本場フランスのような本格的なワインを造るのに適しています」とプロジェクトを担当する、農業係長の林勇人さんは言います。

トラミナー」です。ライチの香りとも言われる芳醇なアロマが特徴で、「とわ北斗のワインの味や香りを楽しむ上で最も欠かせない品種です」と語ります。

また、ワインの醸造は、北海道空知地方南部に位置する岩見沢市のワイナリー「10R winery」に委託しています。このワイナリーを設立したブルース・ガットラヴさんは、アメリカニューヨーク州出身の著名な醸造家で、訪日後の平成元年から栃木県足利市にある社会

により、今では7品種1万本を栽培し、年に1000本ほどの白ワインを生産するまでに。





福祉法人こころみる会の醸造所「ココ・ファーム・ワイナリー」で醸造技師として従事。平成12年には、九州沖縄サミットの晩餐会で「ココ・ファーム・ワイナリー」が製造したワインが採用され、話題になりました。

「障がいを持つ方たちに労働の場を提供し、ワイン造りを行う」という点で、とわ北斗と重なる部分があるため、林さんは「ココ・ファーム・ワイナリーの取り組みを参考にしつつ、鷹栖らしさを感じられるようなワインを造ることが最大の目標です」と熱く話します。

今年の12月10日から10本限定でふるさと納税の返礼品として取扱予定の白ワイン2019L「Assemblage(アッサンブラージュ)」は、青リンゴや柑橘系果実の爽やかな香り、クセのないバランスの良い味わいが特徴。またボトルはフランスのアルザス地方などで広く使用される、背の高いスリムな型で、ラベルの繊細なデザインも相まって、非常に美しい仕上がりになっています。

来年にはピノ・ノワールのみを使

用した赤ワインも生産予定で、「もしかしたら日本最北のピノ・ノワールを使用した赤ワインになるかもしれません」と笑顔で話す林さん。また今後は、ブルースさんの元から巣立ち、鷹栖町で醸造まで行うことを目標としているそう。

「鷹栖町にワインの文化を根付かせることが私たちの役目です。そのためのきつかけ作りとして、とわ北斗のワインを気に入ってくださる方がいらつしやれば、いつでも農園に遊びにきてください」と、林さんは笑顔を見せます。

とわ北斗ヴィンヤードの今後に目が離せません。

(福)鷹栖共生会 とわ北斗
とわ北斗
ヴィンヤード
鷹栖町北斗地区



Facebook



Instagram



Twitter



「たかす」の美味しく 安全なお米を全国へ

鷹栖町中央地区でお米農家として「たかすタロファーム」を経営している平林悠さん。

平成28年春に妻の純子さんと二人のお子さんとともに名古屋市から鷹栖町に移住しました。

元々大手製薬会社で営業マンとして働いていた悠さんは、常に優秀な成績で、「営業は自分にとって天職だった」と語ります。しかし、家族と離れて単身赴任で働き続ける同僚を目の当たりにし、家族との時間を大切にしたいと考えるように。また、「そもそも自分は何が好きなのか」そう自問し続けた結果、悠さんは「何か自身の手で作ったものを自分で販売して人に喜んでもらうこと」が自分の好きなことだという答えにたどり着き、純子さんの理解を得ようと長い期間をかけて説得し、かねてから魅力を感じていた農業への転身を思い描くようになりました。

そんな中、悠さんは北海道を代表す

たかすタロファーム
×
平林 悠



- 1.コンバインで稲刈り中の悠さん
- 2.米粉を使用した「板顔なクッキー」
- 3.たかすタロファームから望む大雪山

たかすタロファーム

鷹栖町20線14号4番地
TEL:090-1122-9378
E-mail:takasu_tarofarm@yahoo.co.jp



たかす
タロファームHP



平林悠
Facebook

るお米の品種「ゆめぴりか」に出会いま
す。日本穀物検定協会の食物ランキン
グで最高位の特Aを取得しているこの
お米を口にしたとき、その豊かな甘み
に悠さんは一目惚れしたといいます。
この出会いにより、年収一千万超の
サラリーマンから「脱サラ農民」にな
ることを決意。
移住フェアなどに参加するうちに、
道内有数の米どころである鷹栖町で魅
力を感じ、移住とともに鷹栖町で初め
てとなる、経営継承事業(後継者のいな
い農業経営者から新規就農希望者等へ
経営を引き継ぐ公的な制度)を利用し
た新規就農を志し、75歳のベテラン農
家・由良さんのもとで2年間の研修に
励みました。そして平成30年4月に独
立し、「たかすタロファーム」を起業。

独立してから現在に至るまで一貫し
てたかすタロファームがお米作りの
テーマとして掲げているのが、「自分
の大切な子供に食べさせたいと思える
美味しくて安全なお米を皆様にお届け
したい」という想いです。そのため有
機質肥料を中心に使用し、農薬の使用
を必要最低限に抑えたお米作りに励ん
でいます。
悠さんが丹精込めて作るお米は今年
の9月から、鷹栖町のふるさと納税の
返礼品として登場。悠さんお気に入り
の「ゆめぴりか」と、ふっくら柔らかな
食感が特徴で、国内線のファーストク
ラスの機内食に採用されたことでも注
目を集めている道産の品種「ふっくり
んこ」の二品種を真空パック加工にし
てお届けします。

また、今年の11月10日に、北海道北広
島市にある「三井アウトレットパーク
札幌北広島」内にオープンしたスイー
ツストア「Loco LIVE SWEETS」に
て、たかすタロファームのお米を使用
した米粉クッキー「板顔なクッキー」
(418円)が販売されています。
元々、お米を購入してくれるお客さ
んにサービスマンで渡していただくという小米
(精米時に割れてしまったお米)を、何
か別な方法で活用したいという悠さん
の想いから生まれたこのクッキー。お
土産にもピッタリな商品です。
『YouTuberよりお米農家になりた
い!』そう子どもたちが憧れるような
職業にしたい」と悠さんは最後に熱く
話してくれました。

都市部に住む方たちに、自治体の農業や観光などに関わるPR活動を行ってもらい、定住を図ることで地域力の維持または強化につなげることを目的とした「地域おこし協力隊」制度。

鷹栖町には、現在5名の隊員が活動を行っています。

ここでは、町で活躍している地域おこし協力隊をご紹介します。

パレットヒルズでスケボーをしよう！

▽菅野 智史 隊員

平成30年12月に着任し、パレットヒルズのマネジメント業務を担当している菅野隊員。アウトドア全般に精通しており、無類のスノーボード好きでもあります。そんな菅野隊員は今年、パレットヒルズにスケートボードのミニランプを製作しました。「初めての人や、子どもたちこそぜひ遊んでもらい、新しい公園利用につなげたいです」と笑顔で話します。

今年の11月1日には、菅野隊員が

製作したミニランプでスクールが催され、大盛況に終わりました。

町の素敵な景色と料理を一冊の本に！

▽林 歩実 隊員

林隊員は今年の4月1日に農村地区地域活動支援担当として着任。愛用のカメラで写真を撮ることが趣味である林隊員は、鷹栖町の「日常」をテーマに、町内の景色や、町民の方が作る料理などを一冊の本に仕上げるため、日々農家の方などに取材を行っています。「取材をさせていたただいた方に読んでもらい、自分たちの住む土地、自分たちが作る料理がどれだけ素晴らしいものかを再認識してもらえそうな本を作りたい」と真剣な面持ちで話します。

鷹栖町で美味しいコーヒーを！

▽鹿毛 謙作 隊員

今年の10月1日に着任した鹿毛隊員。平成30年10月から一年半ほど、青年海外協力隊としてルワンダ共和国でコーヒー豆栽培に関するボランティア活動を行っていたという経歴を持ち、現在はその経験を生かして、コーヒーの試飲会や海外に興味を

私たちが5名が



菅野隊員が製作したミニランプで行われたスケートボードのスクールの様子。

磯野 隊員

辰巳 隊員



鷹栖町の地域おこし協力隊です！

持つてもらえるようなワークシヨップを町内で行っています。「将来的には、鷹栖町内で、空き家をリノベーションして、コーヒーシヨップをオープンさせたいです」と熱く語ってくれました。

運動の楽しさをより多くの方に知ってほしい！

V 辰巳 遼 隊員

男子プロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」のセッターとして活躍している辰巳選手。

平成30年4月に着任して以来、鷹栖町に運動を通じた健康づくりの普及と指導、運動の習慣化を行うため、活動してきました。今年も小学生を対象とした水泳教室などを実施。「任期も残りわずかですが、これから多くの方に運動の楽しさを伝え続けたいです」と目を輝かせます。

また、今年の10月に、辰巳隊員のサイン入りヴォレアス北海道Tシャツと、鷹栖町の名産品であるトマトジュース「オオカミの桃」をセットにしたスペシャルな返礼品が登場しました。

新しいご当地グルメを試作中！

V 磯野 聡美 隊員

鹿毛隊員と同じく、今年の10月1日に着任した磯野隊員。観光振興・特産品販売促進を担当しているだけあつて、かなりのグルメ好きだそうです。鷹栖町のご当地グルメである「たかすぎゅうカレー」がお気に入り。磯野隊員は現在、鷹栖町の米粉や野菜、そしてお肉(牛肉や鹿肉)をふんだんに使用したカレーパンを試作中とのこと。また、天体鑑賞が趣味で、「星空準案内人の資格をもっていて、今後は町内で星空観測会を行うことが目標です」と意気込みます。

個性的で多様性に富んだ鷹栖町の地域おこし協力隊。持ち前の行動力で、鷹栖町の魅力を発掘、発信し続ける5人の活動に今後も注目です。

協力隊の5人は、日々の活動をフェイスブックとツイッターで発信しています。

ぜひ「ごねー」をお願ひください。



Facebook



Twitter

林 隊員

菅野 隊員

鹿毛 隊員



鷹栖町長 谷 寿男

「笑顔 幸せ みんなで作る あったかす」

私こと、このたび鷹栖町長として、三期目を担わせていただくこととなりました。鷹栖町を愛し、応援されている皆様方には、より一層のご支援をお願い致します。

さて、コロナ禍で東京圏の若者人口が、調査開始以来、初めて減少となりました。自分や家族の身体と心の健康を求めて「地方が適地として望まれる時代」が到来したと考えています。「都会の競争社会で生きていた時は、人が失敗すると、ちょっと安心する自分がありました。ここでは失敗しても周りの皆が援助してくれ、成功したら皆で喜んでくれる。この町が大好きになりました。」首都圏から移住された方のお話です。

これからもたくさん笑顔が広がる鷹栖町にしたいと思っています。



10月4日にパレットヒルズで植樹祭を開催し、約120名の方に参加いただきました。

参加者は、木々に想いを込めてナナカマドやエゾヤマザクラなど約550本を植樹し、自然との触れ合いを楽しみました。

鷹栖町バドミントン少年団が全道大会に出場しました。

次代のふるさとを担う子どもたちのため、小中学校の全道等大会参加費用を、皆さまからいただいた寄附金から補助させていただきます。



【令和2年度の寄附】

件数:2,779件
金額:43,577,000円
(R2.4～R2.10月末)

◀ふるさとまちづくり
応援基金を令和2
年度の町の活動に
活用させていただ
いています。

～鷹栖の情報発信中！～

FacebookとInstagramでまちの新鮮な情報を発信しています。ぜひ、「いいね！」をお願いします♪また、鷹栖町ふるさと納税の返礼品を、ふるさとチョイスと楽天ふるさと納税の2つのサイトで閲覧することができます。



町ホームページ



Facebook



Instagram



ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税